

事後評価調書

I 事業概要						
事業名	道路事業（道路改良事業）					
地区名	主要地方道 足助下山線					
事業箇所	豊田市上小田町地内～四ツ松町地内					
事業のあらまし	<p>主要地方道足助下山線は、豊田市近岡町地内の国道153号と豊田市大沼町地内の国道301号を結ぶ、地域内幹線道路である。このうち当該工区は、1車線の道路で狭隘区間となっていたため、車のすれ違いが困難な状況であった。</p> <p>国道153号と国道301号との接続により広域的な活動・交流を可能とし、地域活性化や救急・防災活動を支える道路として整備が求められていたことに加え、近辺では平成17年度に小学校が開校し、本路線を通学路として利用していることから、当該工区の整備が急務となっていたため、整備を実施したものである。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>①山間や離島などの暮らしを支える基盤整備（下山地域の生活幹線道路整備）</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>					
事業費	事業費		内訳			
	8.1億円		■工事費6.5億円、■用補費0.8億円、■その他0.8億円			
事業期間	採択年度	平成17年度	着工年度	平成17年度	完成年度	平成22年度
事業内容	現道拡幅（2/2車線） L=1.6km W=9.25m					
II 評価						
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>①山間や離島などの暮らしを支える基盤整備（下山地域の生活幹線道路整備）</p> <p>十分な幅員で車道2車線を確保し、走行車両の安全な対面通行が可能となったため、地域間の連携強化が図られ、また非常時の救急・防災活動を支える道路として機能する。さらには、歩道の整備により、小学校児童を始めとする歩行者の安全性向上が図られた。</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>下山地域の生活幹線道路整備の観点から、目標を十分達成したと判断する。</p>				
	2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>なし</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>なし</p>				
III 対応方針						
今後の事後評価の必要性	車道2車線の整備により未改良区間が解消され、さらに歩道整備を行ったことで、歩車分離による歩行者の安全が確保できた。このため、主要目標は達成されており、今後の事後評価の必要性はない。					
改善措置の必要性	車道2車線の整備により未改良区間が解消され、さらに歩道整備を行ったことで、歩車分離による歩行者の安全が確保できた。このため、着手時の事業目標を達成しているため、改善措置の必要性はない。					
同種事業に反映すべき事項	標準的な事業計画、工法で施工されているため、同種事業に反映すべき事項は特にない。					